

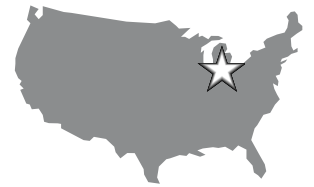


Tokyo, JAPAN

アメリカ留学日記 (3)

早稲田大学社会科学部 3年・Hope College に留学中

伊藤 直人



Michigan, U.S.A.

夏がもうすぐそこまで来ていますね。これから寝苦しい日々が続くのかと考えてしまうと気が引けてしまいます。私は5月の始めに Philadelphia での Off-Campus プログラムを終えることができました。その後 Hope College に戻り、4週間の短期授業 (May term) を受講しており、6月に入り無事に帰国しました。

最終回の今回は、私がアメリカでの留学生活を通じて何を、何を感じ、そして今後にどのように活かしていきたいかについてお伝えしていきたいです。

自分に対する自信

で何を自分が今時点でこの経験を通じて得られたかについてですが、第一に自分に対する自信です。これは傲慢とか独りよがりとかとは異なると思います。私は昨日まで Public Presentation というクラスを受講していた影響もあるかと思いますが、自信が前よりもついたなと気づきました。そもそもこのクラスを取った契機が Philly で気がついた自分の弱点です。それは、自信とコミュニケーション能力です。自信がないと、積極的に話すこともためらうようになり、何かを決定するときも迷いが生じてしまったりするじゃないですか。さらに、コミュニケーションを英語 (外国語) ですると、母国語以上に自分が話していることを意識したり、ニュアンスがわからなくて困惑したりと言葉の重みを否応なしに感じさせられます。ジョークがいい例だと思います。相手が言っている意味そのものを理解したとしても、それはジョークであって、本人が意図しているのは humor を含めた異なる意味でつかっているの、背景知識が異なるとそのニュアンスの

理解が困難です。ただそれ故に、そのような状況の中で培った自信は揺るがないものになるのではないかと考えています。そういった事情もあり、また自分の将来の展望も視野に入れてプレゼンの授業を受講することを決意したんですが……。私は今までプレゼンの経験がほとんどなく、人前で話すことに慣れていなかったもので、受講することに対してあまり乗り気ではありませんでした。また、授業の形式も他の講義のクラス以上に生徒に対して授業の裁量が委ねられていたので、プレゼンの準備がなかなか捗らないときなどはイライラしてしまいました。しかし、回数を重ねていくうちに、足の震えや声のトーン、そして内容が徐々に改善されていくことに自他ともに気づきました。これは、おそらく自信がついたとっていいと思います。約1年間かけてようやく自分を信じることの大切さを知ることができました。これは、生きていく上で必ず生きていくものだ確信しています。

国際交流の楽しさと意義

次にお伝えしたいのが国際交流の楽しさ、そして意義についてです。今まで、自分は海外に親族・友達を含めて知り合いを持っていませんでした。しかし、この機会を通じて私はネットワークの構築とその重要性を知ることができました。Hope College には、世界各国から生徒が来たり、また、後期は都市生活を新たに知り合った人々と送っていったりと、様々な人々と関わる機会が多分にありました。私は、世界各国の友達ができることはとても貴重なことだと思います。日本という島国の中で育ってきた自分にとっては、頭の中でそれがわかっていたけれど、必要性に欠けてい



バーでサッカー観戦の直後